

CONTENTS

戦後60年企画「沖縄写真館」…………… 2  
1940年代 収容所生活からの出発

県政フラッシュ…………… 4

特集1…………… 6  
稲嶺知事 訪米の概要

特集2…………… 8  
5月は消費者月間です  
かしこい消費者になりましょう!

特集3…………… 10  
県産農林水産物をたくさん食べよう!!

ハイサイうみとも 海のともだち………… 12  
「ニシキテグリ」

県のうごき1…………… 14  
自動車税の納期内納付にご協力ください

県のうごき2…………… 16  
紹介します 県政を引っ張る新たな顔ぶれ

情報ひろば…………… 18  
おしらせ

お届けします! わした便り…………… 20  
浦添市 第1回 浦添ストリートダンスコンテスト  
東村 つつじマラソン大会

石獅子見聞録…………… 21  
具志頭村新城

表紙写真  
沖縄の海と島と空の「やすらぎ」をテーマにした写真を  
紹介します。  
5月号表紙写真【小浜島】  
カメラマン :北島 清隆 <http://k-kitajima.net>

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の行政についての情報や、  
県内各地域の情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝え  
する冊子です。  
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設で  
ご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗  
で無料配布しています。また、郵送料をお支払いいただいた  
方には、毎月自宅までお届けします。お申し込みは、沖縄県広  
報協会までお願いします。

沖縄県広報協会(県広報課内) TEL:098-866-2020

# 沖縄写真館

一九四〇年代

収容所生活からの出発

今年、第二次世界大戦の終了から六十年  
という節目の年にあたります。本誌では  
五月号から十二月号までの八回にわたり、  
戦後から一九七二年五月十五日の沖縄の日  
本復帰までの様子を写真を中心に紹介しま  
す。沖縄県公文書館の協力の下、戦後の沖  
縄を明るく、そしてたくましく生き抜いた  
人々の様子を年代順に紹介します。

一九四五年(昭和二十年)の春、沖  
縄戦という鉄の暴風が吹き荒れ、南部  
戦線ではまだ激しい戦闘が続いている  
頃、米軍はすでに石川、コザ、久志な  
ど占領地域内の集落に民間人収容所を  
設置していました。軍人捕虜は民間人  
とは別に、金武村(当時)屋嘉などの  
捕虜収容所に収容されました。

戦場を彷徨して疲れ切っていた住民  
は、米軍から集落の民家などを収容施  
設としてあてがわれ、食糧や衣服、医  
薬品などの配給を受けて、少しずつ「暮  
らし」を取り戻していきました。米軍  
の野戦服などが衣服として配られ、缶  
詰や粉みそに加えてアメリカ製の食糧  
が与えられることもありました。

九月に入ると、それぞれの収容地区  
で市長や市会議員の選挙が行われ、女  
性も投票所へ向かうなど、住民の占領  
下での新しい生活が始まりました。十  
月には旧居住地への帰還が認められ、  
収容所生活は終わりを告げます

今回は米国国立公文書館から収集した沖縄戦関係  
写真資料の中から、収容所の暮らしを記録したも  
のをご紹介します。



洗濯をする姉妹 1945.4.29  
赤ん坊を背中におぶって、共同貯水池で洗濯をする姉妹  
(米海兵隊写真資料12 78-12-2)



弟を背負って歩く少女 1945.7.17  
米軍の水陸両用車と並んで歩く少女。伊平屋島  
(米沿岸警備隊写真 09-13-4)



民間人収容所 1945.4.19  
収容所で、肩を寄せ合い配給の食事をする住民  
(米沿岸警備隊写真 09-05-4)



演芸会で歌を披露する小学生 1945.5  
石川市で開催された演芸会  
当時、沖縄最大の民間人収容所があった  
(米海兵隊写真資料05 74-21-1)



診察を受ける子ども 1945.6.15  
地元の子供を診察する米軍政府病院の医師ら  
(米空軍コレクション 第二次大戦シリーズ07 15-49-2)

このコーナーの写真の使用・転載等  
につきましては沖縄県公文書館  
☎098-888-3875  
までお問い合わせください。